

細木サキ 亮リョウ

私が三里塚にいたのは、三日と四日の二日間だけである。ちよつと立ち寄つたとしか言えない。私が本当に「三里塚に連端を」と叫ぶなら、自らも岩に自分の体を縛りつけ、あるいは岩の前に坐り込んで最後まで闘うべきなのだらう。ニ三里塚の豊氏とともに、国

ありったけの聲でシュューレヒュー
ルをして砦の近くをまゐる。私は隊
列の後ろの方にいるので前の方の精
況がよくわかりなう。長く重い時間
がじり／＼と過ぎる。止むことのな
い雨が降り続いている。薄着だった
私は、ぬかるみの甲で寒さに震えな
がら、去来する幻想・妄想と闘い続
ける。体が凍りついたように手足の
感覚がなくなってくる。じ／＼と耐
えながら、これではもつ機動隊に装
われても走れないじゃないかといつ
不安が脳裏をかすめる。しかしその
時になれば自然に足が動き出す。

聞いには勝たぬばかりだ。流された血と涙の、その夥しさにかけて、もし最後のに負ける時があるとすれば、この人たちが死ぬ時以外に考えられまい。不本意なまゝ負けるとしたら、聖域に入っている農氏の生命、少年の切られた指、それけとうなる。うっかりすると飛ばされてしまふ。そんな風の中で、あとけ永をいれるだけになった痘の外に立って私は一人気負ひたつてしまふ。

五頁



この記事は、アメリカの「リベレイティ」紙の「カーティス」氏の、ケベック解放戦線へのインタビューから摘出したものである。

活動しはじめたケベック解放戦線

ケベックのケベック解放戦線は、一八三三年、ケベックで最初の行進を行った。この行進は、ケベックの高級住宅街の郵便箱に爆弾を放り込んだ。そして勢力拡大をはかりつゝ、オーの行動、フタロ、サクリンの侵略の遺産への攻撃、とりかかった。つぎに大きな盛り上がりを見せたのは、一九六六年のことだ。そこで我々の運動は明確に反帝国主義を目標とするものとなる。ハリエルやナクノフが参加したのもこの頃だ。彼らは鋭い分析力をもっていて、ハリエルの「アメリカの白い二タロ」を見よ、その分析力こそ我々の運動を発展させるために欠かせないものだ。

我々はアメリカ人クワ、ウェストマフットの資本家ども、少数ながら存在するフランス系カナタ人資本家などに対して、爆弾を投げつけることから始めた。我々が選んだ目標からも判るように、問題はナショナリズムではなく、経済的支配と搾取の体制である。

一方、各拠点では労働者を中心にグループを結成し、健康管理・家庭設計などに焦点を絞った活動をした。また、このグループは新聞を発行したり、政府のFLQ弾圧・政治犯虐待の実態を暴露、FLQの行動の意味を大衆に知らせよう努めた。

六九年夏、FLQはモントリオール近郊のセフトシェロームで大がかりなデモを組織した。人口の20%もいる失業者に対し、一〇万の職を確保するという州政府の公約が実行されないことへの抗議行動だ。その時は、デモに対しなぜか警官は、つっただっているだけで何もしなかった。



FLQ(ケベック解放戦線)とPQ(ケベック党)と

ケベックの分離は、もつ時間の問題だ。分や問題は、独立して社会主義社会を建設するが、新植民地主義者のあやつり人形となるかにある。フランス系カナタ人の中でも、レフスクのように「分離後のケベックはアメリカ資本を導入すべきだ」となるといふ裏切り者もいる。

ロックフェラーは「私はケベック党(PQ)を恐れてはいない」と言っている。PQは体制内の文化的ナショナリストにすぎない。だから、利益を得るために、オタワ政府を通さずアメリカ資本と直接結びつきたいと望んでいる。ロックフェラーがこれを歓迎しないはずはない。

また、オタワ政府も「PQとFLQをはっきり区別すべきである。PQは民主的で信用のおける組織だ」と繰り返し述べている。彼らはケベック分離を我々の運動を封じ込める最後の切り札にしようとしている。アメリカ政府もPQの後押しをはかるにちがいない。

FLQは前衛ではない。組織にとらわれず、ラッパ、カルな運動を志向する労働者のグループなのだ。一言へ「現代の眼」3月号参照でも党や前衛によって組織されるのではなく、労働者自身の手で組織されると明言している。運動は地域や大学を基盤とする各グループが、互いに連絡をとり合い、協力して展開される。それを指導する中央組織など必要ではない。最近、ケベックの全グループが集まって、話し合ったり、開会したりするための協議会ができた。

ケベックは二五〇年もの間、抑圧され植民地化されてきたため、愛国心が非常に強い。しかし、ケベックは産業化の進んだ国でもある。だから我々の闘いにはそのための限界も独自の性もあり、第二世界の運動とはまた違った形の運動となるだろう。

誘拐・暗殺の最後の決戦に

夏にアメリカ大使誘拐を試みたが失敗した。そこで、週一回、アメリカ

力資本の会社やフランス系資本家の邸などを爆破することにした。一晩中、町中に爆音音が響き渡り、ちょっとしたお祭り気分だった。10月5日、イギリスの外交官リナード・クロスを誘拐し、七項目の要求を発表した。

- ① 昨春のストを理由に解雇されたモントリオール郵便局組合員の復職
- ② お人の政治犯の釈放と、キューバからアルジェリアへの七命
- ③ 五〇万ポンドを政治犯にもたせること
- ④ 空港での記者会見
- ⑤ 政治犯の自由が保証されるまで人質を提供すること

⑥ 警察のFLQ調査の停止

⑦ 「宣言」をフランスに送ること

しかし、政府は要求項目以外はすべて拒否した。そこで、FLQの別のグループは、「失業と同化担当大臣」(正式には「職業と移民担当大臣」と呼ばれる)と「ラポール」の誘拐を行った。

14日、たまりかねた州政府首相ラッサは、5人の政治犯釈放を申し出たが、FLQはにべもなくこれを拒否。焦った当局は、ラッサを容赦FLQの古動家二四〇人を逮捕。FLQはこれに対しラポール殺害で応え、最後まで七項目要求をくぐげ続けた。

我々にとって逮捕者検出は確かに苦しい。しかしFLQは常に細い分裂を繰り返し、成長発展している。ケベックでは、住民の平均年収が二〇〇〇ドル以下である上、一セブと10人ものので、住民のほとんどが貧しい生活を強いられている。人口は約五〇〇万と、カナダで第二位だが、殆んどが下層のレタリヤである。

こうした中で、ケベックのフランス系カナタ人は、生活状態・教育制度などすべてに劣等感を抱かされている。このような状況のなかで、我々の闘いは大衆の絶対的支持を得ている。逮捕者が続出し、いかに政府の弾圧が続いても、我々のこの闘いを止めることはできないと私は確信している。

現代の子ギズム運動

尾関弘 著

三一新書 350円

自連社でも通信販売します
(送料は自連社の外は別)

自來の監獄からの解放

八ヶ月燃え続ける平和台の炎

「戦々は断つぞ」とややぎこちな護婦を若い低賃金のうちに使い捨てないシヨレビコール夜朝の住宅街に響き渡る。平和台病院野組・共闘会が8月以來毎朝行なっている門外集会である。

「この神戸市長田区鷹取山の麓にある平和台病院は、院長・副院長・事務長、会計課長を親子で占める典型的な同族経営病院。ここに野竹組合が結成され、ストに突入して、すでに八月月を迎えようとしている。

「ゴ部屋」女部屋

現在、医師の多くは「病院は医者なぞ管理する所」へ武見太郎会長と考えている。そのへ金もつけ主としての犠牲者は、私たち患者であり、同時に看護婦などの医療従事者である。それな端的に現れたのは平和台病院なのだ。

ここでは、夜勤明けの「みなな」のため、48時間ぶつとこの勤務も珍しくはない。その上、超勤手当は支払われない。無資格者に注射・一入夜勤（ヘッド数分）をさせる。保健業務なら洗車・便所掃除まで看護婦におしつけ、白衣の洗濯代さえ殆んど支給しない。しかもその賃金は、七年勤続の看護婦で二三、七五の四。諸手当はつくといっても、寮費を取られ、食費、水道光熱費、器物破損費などな差し引かれ、手取りは、二万を大きく下回る。

「それだけならまだいい」と彼らは口を揃える。ここには退取の自由すらないのだ。「貸与金」という名の借金制度が彼らを縛りつけている。

例えば看護婦の場合「資格」を取らせてやるならと中々生を狩り集め、無資格のままこき使う一方、看護婦学校へ通わせる。この学費を貸与金と称して月五千円仕給している。これは二年間には十二万円になるが、月給一六、五〇〇円の彼せうに返済能力はない。所得税な課せられていても、あくまでも「お借し金」なのだ。そこで二年間のお礼奉公な義務つけられていて、それ以後も結婚以外の理由では退取できない。これは看護婦を若い低賃金のうちに使い捨てにしようとするものと云える。

こういつた「ゴ部屋」な「女部屋」と見まごう状態の中で、今まで何人もの看護婦が夜逃げ同然に脱出していった。こうして数年前には二十数人いた看護婦がスト突入時には九名へ看護学生や補助人を含むにまで減少していった。ところが病院側は鉄血階層病棟を増築し、さらなる野竹強化で応えようとしている。

一発なまじり

「看護婦二名が脱出。残り七名はボタジユ突入。二時間後、説得に成功。」
「深夜、院内にゴ部屋あり。」
「30 病院当局に野組結成、スト突入を通知。要書提出。」

こうして、平和台病院側からは、山猫ストに始まった。
「二名の脱出後、残された人々も、みなで逃げよう」と話合っていた。しかし「これだけ逃げられてきたのに、このままやめるのはシャリだ」「病院がつぶれるはずはないから、新しく入る人達はどうなる？」と考える「一発がちなまじり」に決意を固めたのだ。

逃走が即争なというギリギリのところから出ただけに、彼らには窮鼠の居直りの強さがある。これなこの小さな闘いの炎を燃やして続けた原動力であらう。彼らは更に陽気でオーマンだ。

しかし「いつやめてもいい」という意識は、逆に弱さでもある。当初は名へ唯一の正義を除き、看護婦の名義を二名、総責任を社長検査員一名に組合員が七名になつてしまつたところにもこれな表われている。世代のギャツツな大きな給食員と、予定通り結核退取した一名をのぞいても、三名脱走者を出してしまつていく。

金なほしけりやパンパンになれ

「飼文に手をなまされ」 病院側は慌てふためき、野竹関係調整法をたてに「まずむきを入れろ」と団交拒否。彼らにとつて、看護婦も検査員も医師の下働きでしなく、同等の交渉など考えられないことなのだ。

だ。これは、院長の友人な組合員に投げつけた次のような言葉に端的に現れている。「おまえらはふじだらだ。金な絞しけりやパンパンになれ」。

8月8日に団交が開始されてからは病院側の対応はさらにひどくなつた。警察、至善者協会、医師会と連合戦線を張り、一才でノラクウ団交を続けながら、陰ではイヤなウビなたえない。組合員に「ハハキトリ」のニヒ雷報をうつ、川時に寮の電源を切、壁やガラスに油を塗ってガラスをはけなくする、酔っ払患者をけしなけて門外集会を妨害させる……。

また、組合員、野組委員長、共闘会三者の離反をねらつてへ反戦攻撃をなけ、林をみては管理権をたてに官憲導入を繰り返している。

（注）共闘会とは、主体的にこの闘争を担いとする。意志をもつ人々の支援、共闘組織。主に地域の組合活動家によって形成されている。

送検されはしだけ

10月29日、地方労働委員会は、兵庫県で初の実効勧告を出した。27日付けのこの勧告は、病院側に対し「不当労働行為のおそれのあるような言動は慎しむと共に、紛争中の間患は団交を通じてなるべく速に解決せよ」という内容のものである。

これを受けて、団交が再開された。しかし病院側は「赤字で苦しい」と云いほつたり、了解すみのはずの神戸地区労働組合共闘会（総評、中系、平和台労働組合）に加盟している代表の参加を拒んだ。これな資料なない」と団交そのものまで拒否し、依然として不当労働行為を重ねた。

12月18日、神戸市労働基準監督署は、院長・副院長、会計課長を野竹基準法違反で書類送検した。

労働基準署ですら、①不当に長時間労働を強いる、割増賃金を十分支払っていない。②就労賃金は実質的に退取の自由を奪っている。という二点を認めたことは、平和台病院の実態な、如何に劣悪なものだったかを示している。

しかし、病院側は「大病院や公立病院でもやっていることだから違法ではない」と、これを黙殺している。事実、他の病院でも大同小異である。だから彼らのスローモーションには、「人命を危うくする医療制度を根底から改革する」といふのが含まれていくのだ。逆に医師会などな、やつ

きになつて△反戦▽攻撃を期えう
のも、この間い加迫行の「匠」焦体制
全体をくづかへす策をもっている
からう。

(こうした) △反戦▽攻撃の中で、
 地区共闘は戦線から脱落していっ
 た。先日の地区共闘からの①牛柏台
 労組への四点の申し入れが、それ
 を如実に表明している。――①組
 織を最後まで残せ、②共闘まで単
 なる支援団体とせよ、③地区共闘
 の指令に従え、④要十項目を整理
 せよ

これに對した委員長は一月29日の集会で、明確にこう答えた。――①は考え方が転倒してゐる。②③は元じられない。地区共闘自身かなし得ることをせよ。④も元じられない。我々の要土はギリギリのものだ。しかも、われわれは前借金制度さん破産されればストを断つことをすてに明らかにしてゐる。この上のへ整理とは何を意味するのか?と。

兵糧攻めに抗して

若い小さな組合をみくびって、
一、二日もすればかたつくいと夕
力をくくっていった病院側は、遂に
業を看やし、労基署などが年末の
休みになるのを待って、病院の改
争場を閉鎖した。すでに九月以来
今まで通り勤務していた栄養士の
組合をカットしてしたが、今度の
果幸は組合員の生計権を根柢から
消かすものである。これに対し、
組合員は改争場前の生計込みを続
けているが、兵隊攻めは確かにこ
たんでいる。つた、八ヶ月にたう
うとしていく、この間も、一つの
大きなやつ場を迎えていると云え
るだろう。

こんな中でさん假らはオーブンだ。突然訪れた私に対して、資料を渡し、詳しい話をしてくれた上、一日一人80円の食費というのに朝食(食費兼用?)と一緒に食べさせてくれた。

聖職者最難と云ふは

勿論唯一の男性である広安局長は、また21歳である。彼は闘争の問題点として、①聖職者意識 ②悪者・肥後住民との関係、を挙げた。

看話好加診癢と放ったらかし

て」とか、「人節を預かるものが……」とかの批判は、彼女らに、「白衣の天使」のイメージを植らせて押えつけてきた論理と同じものだ。医療労働者にはこれらの意識を過剰負担させる（ことこそ、医療事故をひき惹きし、人命を危なくする（こと）にたつ。

地域の問題は、院長一家がこの付近の有力者であることもあって難しい問題である。組合員は門前集会所に数度に渡る地域住民との懇談会を開いていく。しかし、常に先手をとられていくのが現状らしい。地域住民にとってやはりいざと方々は医者には頭が上からず、こっさりカンピをするのかせい一杯というところかも知れない。

敗事場前に坐り込んで、そんな話をしてゐる時、一人の足音がやつて来た。

「広さん、あんたらもな、はよ先生に謝りなさい。あんたがウソ云つてるとは思わへん、そやけど私うやっぱり信じられへん。先生はな、私にとつては命の恩人なんやで。こゝらのもんはみんなぞうや、そやからなうてゐて、広さん、かわいゝ顔してゝ悪いことしはる。」

あんたらな、こんなとこで坐って
んと、先生にちゃんとお頼んだらえ、
それをあんたらがへ我へけるからあ
かんのよ。私らかつてな、前みたい
に静かな病院になつてほしいもんな
とれていゝ。

長ひけは長ひくだけ、状況は不利になる。少くとも表面上はさう云える。30人以上いた入院患者を他へ移したとは云へ、病院側はハート・アルヒイトを動員して「営業」を続けてゐる。分組の設備を受け入れた患者より、昔からの縁のある富逆さんが多く、一見、余り打撃は受けていないようだ。

それにひきかゝり組の方は苦しい
闘いを強いられている。まして兵ひ
けが支援は弱まるたうつ。人々の記
憶は薄れ、セクト利益に利用できな
ければセクトは手を引いたうつ。支
援体制が崩れ、この小さな闘ひ
は今にも圧殺されてしまうのが目に
見えている。

そうしなれたために、其國では次の
ように訴へてゐる。

①坐り込みに対する官憲導入に機敏に対処して駆けつける。

② 毎朝と夕方、門前集会に最大限

参加する。

③この問題をいろいろな人に広げ
る。

④ カフ袖を集中する。

⑤自分のまわりで小さな集会を開く（必ず平和台からも駆けつける）

⑥ いつでもいゝから平和台病院に
来てみる。

(杉原 哲生)

④平和台病院（同労組）は神戸市長田区平和台町一丁目13の2。山陽電鉄板宿駅下車北東へ。Tel 神戸 6919216。

④門前集会は毎朝8時～9時半&
火木土の夜5時半～7時

④この五日に、「白衣の監獄を告発する——平和台の火は消えず」と題したパンフレットが発売される(定価二二〇円、二七六円)。この予約全も

【1頁より】
一印つ三里塚とのへかかわりゝを
求めて……印あつとする私

ついで

ける場所を見付け、そこで自分の闇
（い）をばじめないかぎり、三里塚との
関りは、これっきりのものになってし
まう。しかしそういって闇いの場合が
私にはあるのだろうか、その不安が
三里塚に私の後髪を引かせた。

私は昨日迄の外で、多くの人たちと「最後の最後まで闘うぞ」と叫んだ。勿論、実際にそのつもりでいる。しかしそれが自分にどう受け返されるのか。すべては生活に戻った時の自分にかゝっている。

三平坂の農民にとって闘争は生活である。一方、支援に出かけた学生は、自分の生活と離れた所で闘いを組もうとしている。しかしそれでは根無し草のようなものになってしまふ。友人の両親との間にもち上つたトラブルが、その事を考え直す良い機会を与えてくれた。彼文の親と、また自分の親と話をする由で自分が何故やるのか、本当に自分かどこまでやる気ているのか、といった今まで自分かおいてまいりたまゝ、避けてきた問題が一つ／＼残断方までに試されている。それを改めて明らかにすることによって、新しく自分が出発してさうのたと思つ、親のやさしさを背負いながら、それらの「問つて」と叫んだ声にんをていこつ。

宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研

理論創造

このささやかな雑誌を「向」の固まりにした。
何故なら「向」が理論の本質的要素をなすものに
他ならないからである。一つの向を発見できればそ
れだけでよい。「向」を向うという情熱が必要なのであ
る。その情熱を観念的とのしる人が「向」を向わなければ
ならないほど、現実はいかにばかしく巨大なものとなっ
てしまっている。(編集後記より抄出)

宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

この地上にわれわれの国はない

宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研
宇野浩二研 信州大学ア研

連載
アーテン・アツII
(3) 行状記
は四めてのはんば
下条かおる

もう一時は過ぎていたが、
まるで歸郷に仕かけるような気持ち
の僕をそのまゝに、車はほんばに
ついた。

はんけに着くまで、想像が想像の
を誘ひ、僕ははんけを恐ろしく思
であるかのように考えていた。そ
れてなせか一時落胆せざるを得な
かた。ふしル又建築のせいかそ
こはなるほど薄暗い。実際につる
された洗濯物。十数畳程の大部屋
の隅に積まれたフット。雑然とし
た活動家のアルトを大きくした
よつなものだ。そんな風に考え出
すと不思議に親しみさえもわいて
くる。薄汚れた畳の感蝕は二時間
のドライフに病れた僕の足に解放
感と落ち着きを与えてくれた。

僕は別段明確な意志を持ってはな
ばに入。た訳でもなかつた。知
す知らず身に付いたアソコ意識と
ても言あうか、とにかく食つたゆ
の必要と、誰も僕を知らない、よつ
な町へ行つてみようというだけの
漠然としたものだった。ある程度
知る事ができた釜ヶ崎の街に對す
る、最初の驚きと窮乏しいドヤと
のおさらはだった。

一旦はんばへ入ってしまったと、持ち前の僕の好奇心が湧き起つてきた。はんばのいろんなことをできるだけ客観的に知る為には、未だ三者鼎立場を取ればいゝ、その思つた僕は常にみんなの最後尾につく事に心掛けた。メシを食ひに行く時、朝仕事に出る時。金を借りる必要もないのに、借りに行く人々に付いて行つて借りたりもした。今日僕と一緡に連れて来られたアツコは全部で六人。他の五人の、アツコは僕と親子ほども年の隔りがある。当然僕には異相感があった。彼らの方も僕の存在を放つておいてくれなかつた。しかし異相感には彼らとの語りかけのうちに小

部屋で音が自分の荷物を整理して
いると、おかみさんが入って来た。
なか／＼の美人だ。全昌食堂に来て
欲しいと言つた。

全員にカレンターの裏か何かを小
さく切つた一枚の紙切れが手渡され
た。それに本籍と氏名を書けと言つ
僕は無意識のうちに家の住所を書き
かけていた。途中で、あかみさんが
住所と言わず本籍と言つた意味にハ
ッと気付き、なる程と思った。釜ヶ
崎のアソコにはたして何人住所の書
ける人間がいるだろうか。住所が書
けない事へこそ釜ヶ崎のアソコたる故
でもある。

「わしの本籍どこやうかい、など
と冗談半分に僕に尋ねてくるオッサ
ン。
「そ、んなもんどくてもえ、けど、
やっぱりほんまの所書いotta方が
え、んとちやうだらと応えた。人間
は自分の命を金に代えることができ
る。不慮の事故でもし命を失つ事
になれば、本籍を書いて置く事によ
つてそのことが可能となる。釜ヶ崎の
アソコにあって労災とは所詮そんな
ものでしかない。

へはんばリタ「部屋」といふ素人意識からは解放されたものゝ、僕の晴博の了平が出るのはまたまた矢の事だ。まだ仕事の内容もわからないし言ってみれば金ももらえるかどうかともわからないのだ。

なるほど手配師は、はんばの条件
(日当、メシ代、仕事内容等々)を
教えてくれた。しかしアソコはあく
までも手配師の道具であり、利用さ
れるだけの存在でしかない。手配師
はアソコの立場に立って説明しはし
ない。

親方と手配師の間に契約關係がある。しかし手配師業は手配師業として獨立してあり、はんばの経営と直接のつながりはない。又手配師業が暴力団の収入源としてあるならば何をか言はんやである。あたてられ持ち上げられて僕らははんに送り込まれてきた。手配師にとって何も知らぬ若僧はかゝ、この力もたつたのだらう。

仕事は果た、果たと言いつながらも
手配師の最後の言葉は「ナンバリッ
クレヨ」 たうたことかその事をよく
意味してゐる。

手廻師は、昔はアソコの頭杓を懸
ゑるたけてよかった。しかし、現在

は、契約期間を過ぎ越したアソコの
頭算の計算による。途中で仕事、あ
ういにはんはそのものが嫌になり、
トソコした（逃げた）者は計算から
除外されるという事だ。

トソコするアソコが多ければ多い程、手配師の収入は減つていく。食
いにくくなれば手配師共はその悪手
工を働かざねばならぬ。良い手配
師とは、ウソにならぬウソ、つま
りこしつけられいくらでも正当化で
きるウソをつく手配師のことだ。下
手な手配師ほど条件をこまかく、日
当の安いはんばい場合ならば、差し
引かれるチャーム代（メシ代）を安く
言い、實際上の日当をより高く思わ
せたりする。

手配師が信用出来の事は雨を見た時から実感として感している。しかしアノコははんばの情報を知るすべが彼らを通じる以外何もない。

「契約は僕が車に乗り込んだその瞬間に成立した。たゞの一枚の契約書もある訳ではない。アソコとして働く事を引き受けさんすればいゝのだ。はんばに一時期雇われるのではなく、労働力としての肉体を貸す事を納得すればいゝのだ。」

皆は食堂で酒を飲んでいふらしい
僕は一人でフトンの上につつふせに
なった。昨夜の青かんの疲れからか
いつのまにか眠りに落ちていた。二
時間もたったたろつか、急に食堂の
方が騒かしくなったので目が覚めた

編
集
室

先月のへおしゃべり〜に対して、
「なんてゼイタクなんだ」という某
書を貰った。判っていたこととは言

え、シヨック。これまでの一九九年間の自分から迷われないことを、眼前につきつけられてしまった。他に、評論家の体質と、「自連」への関り方を問われている。家との問題は妥協のできそう。(以上、かなり私的なオハナシ) ㊦ 今号のスッティングミス類出をお詫びします。㊧ 最近のAアジト、客人(人)多し。あなたもいかが？(生)

① 編集室の一隅をあかり
② して、段の最初の一文が不鮮明なこ
③ とをおわびします。この文は……

我々F.L.Q. (ゲヤツク解放戦線) は一九六三年、ゲヤツクで最初の行動を起こした。

です。(ちかい)

あんけえと 26 ころ だれに

◆この「あんけえと」は、「姫路市亀山354、向井方」まで送ってネ。

◆毎号ちゃあんと(※:確実に)「じれん」を読むために、直接定期購読してほしいんだわ。それがだめなら、アジトで手伝ってくれますか?

◆購読料やカンパは、振替(大阪1264、自由連合社)で、送ってほしいんだわ。振替は、向井宛では、だめなんだわ。ユルシテ。

◆原稿・ビラ・機関紙・資料などなど「じれん」に送られたし、なんだわ。

＝(ぼちぼち、「あんけえと」に、とりかかり)まっせー＝

オ11問: 本号の記事のなかで、「こりゃあいける!」と思われたのは?

P. の
P. の

オ12問: おもしろくも、なあんとも、感じなかったものは?

P. の

オ13問: 「じれん」送付に関して、どれかに○印を。

1. 申し込み済。 2. 本号から購読してますまんねん。
3. もう、けっこうです。 4. 次号から____部に。

オ14問: サインして〜
どこは、

だれの だれべえ _____ に住んでる
で、 オで、 しごとば _____ やってます。

紹介して〜 _____

あんけえと

まだ続くんだわ。

じれん

オ15問: 本号の記事に関して、なんかあっしゃってください。

オ16問: これからの「じれん」で得たい情報は?

オ17問: なんでもいいです。書きたいことをどうぞ。

オ18問: 事務通信する必要があるれば---

